

貴志南っ子³月

令和2年2月28日

— 期待 —

◆今年度最終の参観・学級懇談会には保護者の皆様には多数ご参加いただきました。参観日では、普段通り変わらずの子もいますが、ほとんどの子は、妙にハイテンションだったり、恥ずかしさのために猫をかぶったようになっていたり様々です。子どもたちにとってハレの日だからでしょうか。今回の多くの学級のように、自分の割り当てや出番が決まっているとなおさらです。

◆さて、「ピグマリオン効果」という言葉は耳にしたことはあるでしょうか。ピグマリオン効果は、アメリカのローゼンタール達が行った心理学の実験から誕生しました。誰かの期待に応えようとする姿勢が成果につながるという考え方のことです。例えば、大人が「この子はきっと伸びる」と強く思って接することで実際に成績が伸びるというものです。社員教育に取り入れている会社もあるそうです。



◆上のように参観日などは、親が自分に期待して見てくれているのは感じているはずですが、普段以上に活躍しようとして高ぶっていたり、逆にプレッシャーを感じて萎縮したりします。でも、どちらも期待に応えようとしているわけで、その子にとってはプラスになっているのです。



◆こういった特別なハレの日だけでなく、普段でも「あなたは、できるんだ」と期待している気持ちが伝われば、子どもの自尊感情も高まり意欲も出ます。ただ、コミュニケーションにおいては、「言葉以外の非言語な要素で話し手の93%の印象が決まってしまう」と言われています。言葉よりもそれ以外（表情、しぐさ、視線、声の質、テンポなど）の部分により大きな影響を受けるといわれます。うわべだけの声掛けでなく、心より発信することが効果につながるのでしょう。

◆本年度もこの3月で終わります。卒業する6年生も含め、今後も私たち大人が常に「あなたはやれる、できる、伸びる」と期待し、伝え続けることが、子どもたちの成長につながることを信じてしたいと思います。



◆私事になりますが、この3月でこの便りの執筆も終えることになりました。過去数年分はHPにありますのでご高覧下さい。もちろん、今後も貴志南小の子どもたちには、特段の期待を寄せ続けつもりでいます。 <学校長 犬塚 博志>

★貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>
※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。
※学校アンケート結果はHPに掲載済み。自己評価書・学校関係者評価書は3月末の見込みです。